

令和元～五年度 日本学術振興会 科学研究費 基盤研究 (C)  
「対馬暖流ベルト地帯周辺における縄文農耕の実証化に向けた関連石器類の広域基盤研究」

2023年度 最終成果報告

講演会 北九州市立自然史・歴史博物館 (歴史友の会)  
対馬暖流ベルト地帯の提唱と  
青潮文化圏をめぐる縄文農耕の黎明

【予稿集】



2023. 12. 9

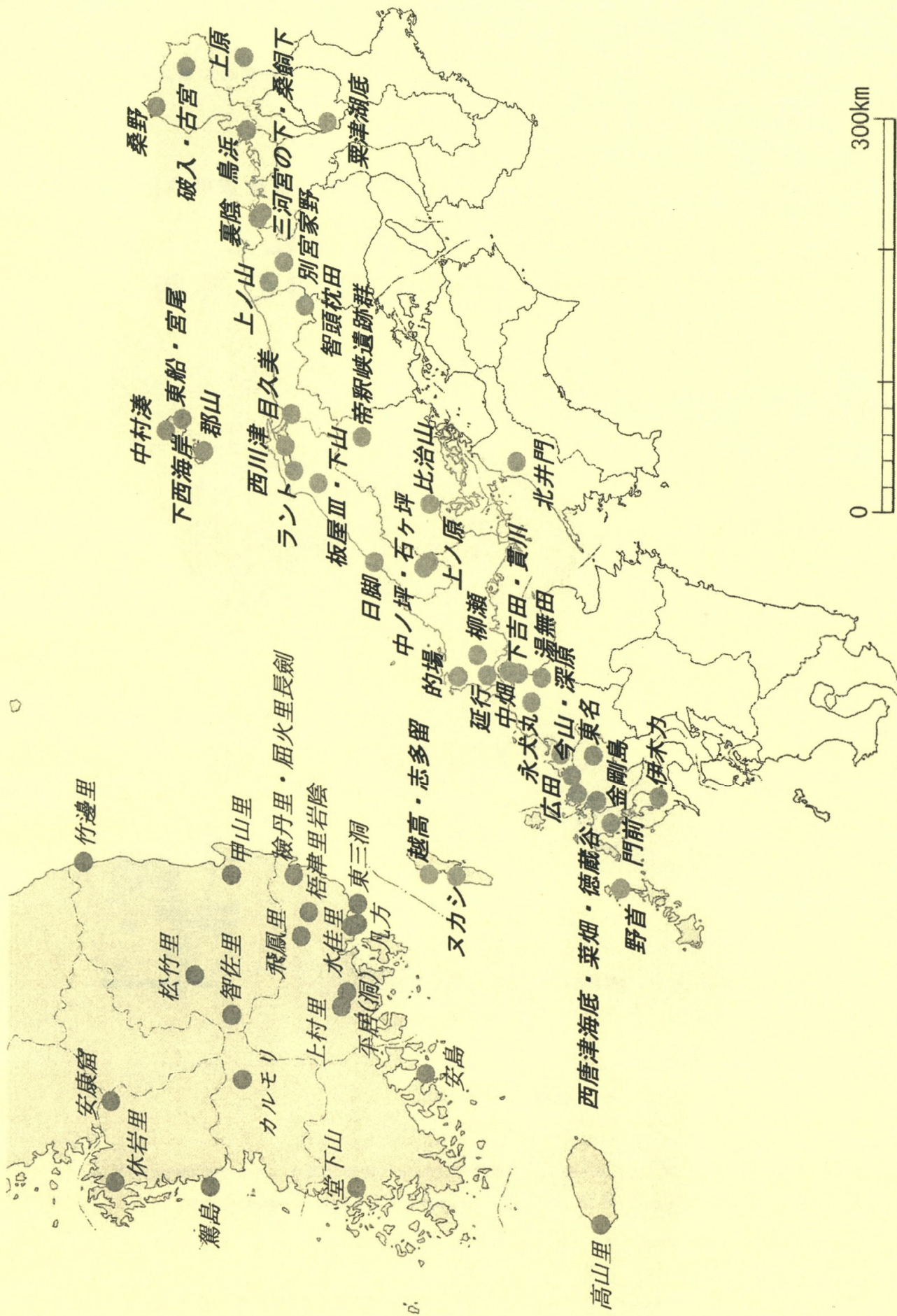
講演者 幸泉満夫 *Lecture Presenter: KOIZUMI Mitsuo* (研究代表者: *Principal Investigator*)  
国立大学法人 愛媛大学法文学部 *Faculty of Law & Letters Ehime University*

令和元～五年度 日本学術振興会 科学研究費 *Japanese Society for the Promotion of Science*  
基盤研究 (C) *Grand-in Aid for Scientific Research on Area C*

研究課題番号 19K01097 *Fiscal Year 2020-2025, Project Number 19K01097*

対馬暖流ベルト地帯周辺における縄文農耕の実証化に向けた関連石器類の広域基盤研究  
쓰시마 난류 벨트지대 주변에서의 조몬 농경 실증화를 위한 관련 석기류의 광역기반 연구

*The basic study of the agricultural stone tools around the Tsushima warm current belt zone in Jomon period*



附図1 この講演会で登場する主要遺跡

本日の講演会	大韓民国 (韓半島東南部)	日本国 (対馬暖流ベルト地帯; 主に北部九州沿岸域)	実年代	画期
講演会	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 1
後篇	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 2
講演会	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 3
前篇	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 4
講演会	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 5
後篇	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 6
講演会	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 7
前篇	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 8
講演会	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 9
後篇	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 10
講演会	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 11
前篇	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 12
講演会	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 13
後篇	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 14
講演会	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 15
前篇	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 16
講演会	新石器時代	縄文時代	弥生時代	Epoch 17

(幸泉2024a; 第Ⅱ1-2図を基に; 幸本2004, 田中2009, 畑野2023を加味し、右端の実年代については小林謙一2019より50~100年単位で大きめに設定して作成)

附図2 時期設定

**【 広 告 】 令和5年度 下関市立考古博物館スポット展示**  
(愛媛大学幸泉研究室監修・協賛事業)

**『下関の縄文農耕を探る ～柳瀬遺跡と延行条里遺跡～』**

《 展示期間 》

令和5年(2023年)12月9日(土)～令和6年(2024年)2月18日(日)

《 展示内容 》

下関市の柳瀬遺跡や延行条里遺跡から出土した、縄文時代後期から晩期にかけての縄文土器や石製農耕具にスポットをあて、下関の縄文農耕のありようを探ります。

令和元～五年度 日本学術振興会科学研究費 基盤研究(C)  
「対馬暖流ベルト地帯周辺における縄文農耕の実証化に向けた関連石器類の広域基盤研究」  
2023年度 最終成果報告

**【予稿集】**

講演会 北九州市立自然史・歴史博物館(歴史友の会)

**対馬暖流ベルト地帯の提唱と  
青潮文化圏をめぐる縄文農耕の黎明**

編著者 幸泉満夫(研究代表者)

発行日 2023年12月9日

発行者 国立大学法人 愛媛大学法文学部 幸泉研究室  
愛媛県松山市文京町3番

発行数 予稿集 限定120冊

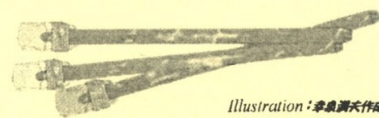


Illustration: 幸泉満夫作成

本冊子は、令和五年度JSPS日本学術振興会科学研究費19K01097(基盤研究C)「対馬暖流ベルト地帯周辺における縄文農耕の実証化に向けた関連石器類の広域基盤研究」(研究代表者:幸泉満夫)の支援経費により、印刷配布されています。

北九州市立 自然史・歴史博物館 歴史友の会

## 12月の講演会

令和5年

12月9日(土)

13時30分-15時30分  
(開場:13時00分)

講演タイトル

# 対馬暖流ベルト地帯の提唱と 青潮文化圏をめぐる 縄文農耕の黎明

講師

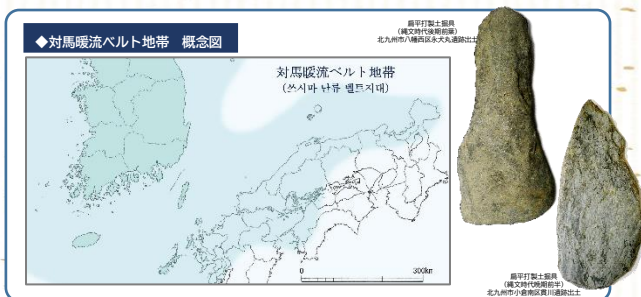
愛媛大学法文学部准教授  
こいずみ みつお  
幸泉 満夫 先生



会場

北九州市立 自然史・歴史博物館  
1階 ガイド館 (北九州市八幡東区東田2-4-1)

定員 200名 当日先着順受付 参加費 800円(資料代)  
※友の会の会員は無料



〈主催〉北九州市立いのちのたび博物館歴史友の会

〈お問い合わせ〉TEL 080-3992-0279

歴史友の会ご入会案内はコチラ



いのちのたび博物館 歴史友の会

※この講演会では、令和元～五年度JSPS日本学術振興会科学研究費「対馬暖流ベルト地帯周辺における縄文農耕の実証化に向けた関連石器類の広域基盤研究」(19K01097基盤研究C、研究代表者:幸泉満夫)の支援を受けています。



# 令和5年度 北九州市立自然史・歴史博物館歴史友の会 開催事業

## ① 講演会

日程	講演会タイトル・テーマ	講師
4月 8日(土)	小倉の城主 毛利・細川氏	歴史友の会会長 永尾 正剛 先生
5月13日(土)	前方後円墳出現の契機	行橋市歴史資料館館長 宇野 慎敏 先生
6月10日(土)	たたら吹製鉄と反射炉 幕末からの九州の鉄事情	北九州市立自然史・歴史博物館名誉館員 松井 和幸 先生
7月 8日(土)	神になった武士	九州大学名誉教授 高野 信治 先生
8月26日(土)	石垣と堀の最高傑作……小倉城天守閣の壮大な	北九州市立大学非常勤講師 佐藤 浩司 先生
9月 9日(土)	日本の海底遺跡とその調査・保存	佐賀大学全学教育機構教授 宮武 正登 先生
10月14日(土)	「なつかしい暮らしと道具展」関連講演会 民具の可能性	夏目漱石内坪井旧居館長 吉留 徹 先生
11月11日(土)	東アジア友好博物館シンポジウム報告 藍島と馬島をめぐる考古学的研究	北九州市立自然史・歴史博物館学芸員 宮元 香織 先生
12月 9日(土)	対馬暖流バルト地帯の提唱と 青潮文化圏をめぐる縄文農耕の黎明	愛媛大学法文学部准教授 幸泉 満夫 先生
1月13日(土)	磐井の乱と装飾古墳	九州歴史資料館 埋蔵文化財調査室長 吉田 東明 先生
2月17日(土)	慶応2年小倉城自焼と小倉藩の孤軍奮闘	北九州市立自然史・歴史博物館学芸員 守友 隆 先生
3月 9日(土)	『源氏物語』の成立と受容	九州大学大学院人文科学研究院准教授 岡田 貴憲 先生

※友の会会員は参加無料、非会員は参加料として各回800円が必要です。(ただし10、11月講演会は無料)  
※講演会はすべて13:30~

## ② 史跡見学会

日程	見学先
5月19日(金)~20日(土)	旅行(鹿児島方面)
6月15日(木)	バスハイク(京築方面)
10月26日(木)~28日(土)	旅行(関西・福井方面)
11月16日(木)	バスハイク(山口・長府方面)
2月 8日(木)	バスハイク(宗像・福津方面)

※②③はいずれも友の会会員であることが参加条件となります。  
※費用は実費を予定しています。

## ③ 学芸員と行く 文化財ガイドツアー

北九州を代表する企業家の邸宅  
旧安川邸・旧松本邸

■日程:4月20日(土)  
■ガイド:日比野 裕子 学芸員(近現代史担当)  
安川・松本家のファミリーヒストリーと邸宅の見どころ  
をご案内します。

小倉藩主の菩提寺 広寿山福聚寺

■日程:11月25日(土)  
■ガイド:富岡 優子 学芸員(古美術工芸担当)  
黄檗宗の名刹 広寿山福聚寺を散策します。

歴史友の会ご入会案内はコチラ

いのちのたび博物館 歴史友の会

